

# アシタのたかはま研究所からの研究レポート Final

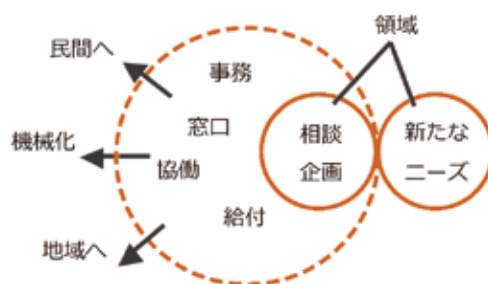
『アシタのたかはま研究所からの研究レポート』では、高浜市の現状や将来の姿についてお伝えしていきます。

## 変わっていく行政サービスのあり方 — 日本の労働人口の49%が人工知能やロボットで代替可能に —

(株)野村総合研究所、英オックスフォード大学 マイケルA.オズボーン准教授、カール・ベネディクト・フレイ博士の共同研究より、国内601種類の職業について、それぞれ人工知能やロボットなどで代替される確率が試算され、10~20年後に日本の労働人口の約49%が就いている職業が、それらに代替されると発表されています。市町村の行政事務員も人工知能やロボットなどによる代替可能性が高い100種の職業に含まれています。

また、今年1月から運用がスタートしたマイナンバー制度。今後は、インターネット上で個人情報のやりとりの記録が確認できる「マイポータル」など、マイナンバーがより普及していくことで、行政サービスはもっと便利になることが見込まれています。「住民票や税証明などの各種証明は不要になる」、「各種給付・医療手続きはWebで申請可能になる」、「必要な人に必要な時期に行政からの通知サービスがされる」など行政サービスの姿が変化していくと、将来は市役所に来る必要がなくなるかもしれません。

20年後に残ると推測される行政サービス



## もっと便利になっていく時代の中で、変わらず“高浜らしく”あるために…

『アシタのたかはま研究所からの研究レポート』では、平成27年4月に発行した「アシタのたかはま研究所レポート」から「人口の未来」や「高浜市を取り巻く状況」などを抜粋して掲載してきました。

「アシタのたかはま研究所レポート」は、高浜市の将来人口推計をベースに、高浜市が20年後どのようなまちへと変わっていくのか、高浜市を取り巻く社会情勢はどのように変わっていくのかをさまざまな資料やデータをもとにとりまとめ、将来の行政サービスのあり方を考えていくための糸口を示すものです。

少子化・超高齢社会の到来や機械化・ICT化の進展など避けることができない未来へ今を生きる私たちができることは何でしょうか。



私たちが、子どもたちに残せるモノは、“便利な社会”だけではなく、きれいな“市役所”や“公民館”・“図書館”でもありません。

私たちが、子どもたちに残したいモノは、今まで引き継がれてきた高浜市の“伝統”や“文化”、人と人との“つながり”。本当に必要なモノは、「いつまでも住み続けたい」と感じられる「大家族たかはま」がこれからも続いていくことです。

《アシタのたかはま研究所 研究レポートは、市公式ホームページで公開しています。》